

** 2017 年 11 月改訂（新様式第 5 版）

* 2011 年 9 月改訂（新様式第 4 版）（指定医薬品の削除）

日本標準商品分類番号 87273

口腔粘膜・根管消毒剤
日本薬局方

承認番号	16100AMZ00402000
保険適用	平成 12 年 4 月
販売開始	平成 6 年 3 月
再評価結果公表	昭和 57 年 8 月

歯科用ヨード・グリセリン
(ヨーグリ)

* 劇薬

貯法: 遮光、気密容器、室温保存
使用期限 3 年

【禁忌】 (次の患者には投与しないこと)
本剤又はヨウ素に対し過敏症の既往歴のある患者

【組成・性状】

* 1. 組成 本品 100mL 中次の成分を含む。

ヨウ素	10g
ヨウ化カリウム	8g
硫酸亜鉛水和物	1g
グリセリン	35mL
精製水	適量

2. 性状

本品は暗赤褐色の液で、ヨウ素のにおいがある。

【効能・効果】¹⁾

口腔粘膜（歯肉）及び根管の消毒

【用法・用量】¹⁾

適量を綿球又は綿繊維につけ、局所に貼付する。

【使用上の注意】¹⁾

1. 相互作用

併用禁忌（併用を避けること）

併用薬	水銀剤
理由	ヨウ化水銀が発生するおそれがある。

2. 副作用

(1) その他の副作用

過敏症（頻度不明）：発疹、口腔粘膜びらん等の過敏症状が現われることがあるので、このような場合には投与を中止すること。

(2) 適用上の注意

歯科用にのみ使用すること。

(3) その他の注意

ヨウ素の急性毒性 LD₅₀ 300mg/kg²⁾
(ヒト、経口)

【薬効・薬理】

1. 殺菌作用³⁾：ヨウ素

2. 防腐作用：硫酸亜鉛水和物

3. 抗菌スペクトラム

黄色ブドウ球菌 (S. aureus)、むし歯菌 (S. mutans)、大腸菌 (E. coli)、糸状菌 (C. albicans) に対して菌発育阻止作用を示した。⁴⁾

【有効成分に関する理化学的知見】³⁾

一般名：ヨウ素

化学名：Iodine

分子式：I₂

性状：本品はジエチルエーテルに溶けやすく、クロロホルムにやや溶けにくく、水に極めて溶けにくい。

本品はヨウ化カリウム試液に溶ける。本品は常温で揮散する。

【取扱い上の注意】

- 本品により、手指または白衣が汚染された場合はハイポアルコール等で脱色し、充分水洗いすること。
- 遮光して気密容器に入れて保管すること。

* **【包装】**

25 mL 褐色ガラス瓶入

【主要文献】

- 1) 第 20 次医療用医薬品再評価結果（昭和 57 年 8 月 10 日薬発第 707 号厚生省薬務局通知）
- 2) 有害化学品、危険物、毒物処理取扱いマニュアル、海外技術資料研究所、503～504、1974
- ** 3) 第 17 改正日本薬局方解説書、廣川書店、東京、2016
- 4) 村上雄次：歯科用消毒剤の微生物発育阻止作用に関する比較研究、日本歯科保存学雑誌、26(1)、284～314、1983

【文献請求先】

アグサジャパン株式会社
〒540-0004 大阪府中央区玉造 1 丁目 2-34
06-6768-6344 (代表)

製造販売業者及び製造業者

アグサジャパン株式会社 大阪府大阪府中央区玉造 1 丁目 2-34